

POLARICTM分子周囲の環境(溶媒)に応じて蛍光波長が変化する

ソルバトクロミック 蛍光色素

POLARICTM
ポラリック



基盤となった研究テーマ

汎用的バイオ応用を目指した
蛍光ナノポリマー粒子プローブの創製

北海道大学大学院地球環境科学研究院
准教授

山田 幸司
Koji YAMADA, Ph.D.

04

機能性蛍光色素として
注目されるPOLARICTM。
生命現象の可視化、
バイオイメーキングは
もとより
幅広い分野での
応用も視野に。

*1 POLARICTMはポラリス・テクノロジー(株)の
登録商標です。

販売元

ポラリス・テクノロジー 株式会社
札幌市北区北21条西11丁目
北海道大学 北キャンパス総合研究棟3号館309
<http://www.polaris-t.com/>



技術
Technology

ソルバトクロミック蛍光色素POLARICTMは、TM*1

- ①既存色素と比較して光や化学反応による退色が少ない
- ②毒性が小さいため、ライブセルでの長期観察が可能
- ③鈴木一宮浦クロスカップリング法を用いることで、ユーザーの用途に合わせて蛍光色素を受託合成できる

以上のような、大きく3つの特徴に集約される。その用途はバイオイメーキングなどのマイクロ局所観察に留まらず、環境分野におけるモニタリング調査など、幅広い分野に活用の可能性を持つ。2010年にPOLARICTMを始めとする機能性蛍光色素を取り扱う化学メーカーとしてポラリス・テクノロジー社が創業し、POLARICTMの販売・受託合成が出来る体制が整えられている。

株式会社 プライマリーセル

札幌市北区北21条西12丁目2 北大ビジネス・スプリング3階
<http://www.primarycell.com/>

